

職員の皆さんへ

年度末は一旦、寒の戻りがありましたが、いよいよ桜満開の春が平戸市の名所を美しく彩り、地域全体に躍動感が漲っています。そして本日、新年度のスタートを迎えました。

このたびの人事異動につきましては、ふるさと納税推進班の新設に伴う増員や国勢調査担当職員の配置などを行いながらも、「第二次定員適正化計画」に基づき、「将来にわたる職員の減少などを見据えた組織のスリム化を図る」ことを目的に、職員一人ひとりが持ち前の優れた能力と個性を十分に発揮できるための適正配置を行いました。

その中で、産業振興部においては、事務事業を効率的かつ専門的に進めるためには、農林水産課を農林課と水産課に分離すべきと判断し、これに伴いそれぞれのハード施策との連携強化を図るため建設部の土木技師をそれぞれの事業課に再配置いたしました。

また国土調査班につきましては、地籍調査班に名称を変更してまちづくり課から建設課に移管いたしております。

さらに人事交流につきましては、今回は1名の相互交流にとどめ、引き続き長崎県から固定資産税班に係長を受け入れることとし、本市からは県北振興局課税課へ派遣いたしております。また平成20年度から平戸観光協会へ職員1名を派遣しておりましたが、昨年度をもって終了することとしております。

さて新年度は本市にとって合併10周年の節目の年となります。

あっという間の10年間という感じもしますが、時代の変化とともにそれに対応できるような改革を進めながら今日に至っております。これまで本市行政に大きく貢献された方々のご功績を称えながら、市民総参加による歴史的にも意義ある式典にしていきたいと思っております。またこれに関連したイベントも一年を通して実施されるようです。職員各位におかれては、積極的に参加して官民協働の明るく力強いまちづくりを実践していただきたいと思っております。

また新年度は、これまで進めてきた地域コミュニティづくりについて、度島地区に続き、生月、大島、田平各地区において具体的な段階に進むこととしておりますし、各地域まちづくり運営協議会の実働部隊として国の施策を活用し、合計7名の地域おこし協力隊の皆さんをそれぞれ教育委員会分室等に配置しております。外から見た平戸市への率直で新たな視点で、あらゆることに積極的に参画していただき、魅力あるまちづくりを実現していただきたいと思っております。

懸案であった新しい消防庁舎も完成し本日から正式な運用開始となります。市民から頼りにされる防災や救命の拠点として松山消防長を中心に消防職員一丸となって安心安

全なまちづくりにご尽力いただきたいと期待します。

また本年夏には、(仮称)平戸市総合情報センターも完成の運びとなっており、新たな市民の交流拠点ならびに観光客への魅力のスポットとして期待が高まると確信しています。機能移設や開館準備に大変なご苦労があらうかと存じますが、万全を期して取り組んでいただきたいと思います。

新年度予算ならびに各種施策については、国や県そして各自治体とも共通の課題である人口減少対策について様々な取組が予定されています。

3月定例市議会において「平戸市ずっと住みたいまちづくり創出条例」が可決成立いたしました。県内自治体でも人口減少抑制のための条例制定の事例は珍しく、これは市議会の皆様との数多くの協議や意見交換を通じ、パブリックコメントなどの諸手続きも踏まえたもので、内容としても民間事業者、市民の役割なども銘記した「画期的かつ真剣な決意表明」でもあるのです。これまでの人口流出の要因を決して「他人事」とか「人のせい」にせず、正面から向き合い、立場を超えて相互協力を図りながら課題解決に導いていきたいと思います。

さらにこれと連動している「平戸市中小企業・小規模事業者振興条例」もまさに人口減少に歯止めをかけ、実践的な産業振興による雇用拡大を図る狙いが込められています。今後は具体的な「産業振興ビジョン」の策定を官民協力して実現しながら、活力あふれる産業基盤形成や若年層への雇用を広げ元気一杯のまちづくりを実現してまいりたいと思います。

相変わらず人口減少傾向や長引く景気の低迷など直面する課題は簡単には解決できませんが、いずれの地方自治体も抱える悩みは同じであり、似たような条件の中で地域間競争に生き残らなければならない努力を強いられています。

それに昨年度はふるさと納税の寄附額が14億円を超え「日本一」になったという快挙は大変誇らしく、平戸の魅力为全国に発信しながら関係者とともに確かな自信を得られたという手応えを実感しておりますが、今年度は制度の拡充などが図られることにより、さらなる自治体間競争が激化することが予想されます。昨年度の快挙に決して慢心することなく、市民の皆様とともに全力を傾注して、ふるさと平戸市の魅力発信に取り組んでまいりましょう。

それぞれ職員が入れ替われば、当然のことながら職場の雰囲気も変わります。各部局においては、今回の異動によって更なるチームワークづくりに励み、常に明るい職場環境の中で、それぞれのやる気と能力を引き出しあいながら、心機一転、市民の信託に応えられる体制づくりを構築する必要があります。

そして平戸市が本来有している様々な優位性を市民の皆様と共感・共有しながら、協働のためのチームづくりの実現のために、より多くの人から愛され、親しまれ、訪れた

くなるまちづくりに向かって努力してまいりましょう。

以上、新年度における職員の皆さんの活躍を期待して、辞令交付に際しての激励の挨拶といたします。

平成 27 年 4 月 1 日

平戸市長 黒 田 成 彦